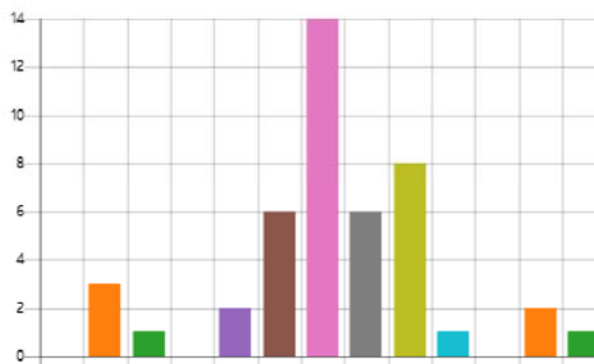


令和3年度科学研究費申請に向けたオンライン勉強会 アンケート

1. 申請予定種目についてお選びください。(複数回答可)

● 特別推進研究	0
● 新学術領域研究	3
● 学術変革領域研究 (A・B)	1
● 基盤研究 (S)	0
● 基盤研究 (A)	2
● 基盤研究 (B)	6
● 基盤研究 (C)	14
● 挑戦的研究 (開拓・萌芽)	6
● 若手研究	8
● 研究活動スタート支援	1
● 奨励研究	0
● 未定	2
● その他	1



2. 今回のオンライン勉強会はいかがでしたか？

● とても満足した	6
● 満足した	20
● 普通	4
● あまり満足しなかった	1
● 全然満足しなかった	0



3. 上記回答の理由を簡単に構いませんので、ご記入ください。

- ◆ わかりやすかった
- ◆ 新たな発見がいくつかあったから
- ◆ 研究計画調書の記載方法及び審査員点数等について
- ◆ 「学術的背景」と「本研究の着想に至った経緯」で書くべき内容が違うということを、なんとなく感覚的に分かっていたものが明確に分かったので、とても納得です。
- ◆ 科研費の最近の動向がよくわかった
- ◆ 申請において重点を置くべきポイントが理解出来た。
- ◆ 科研費の仕組み、申請書の書き方を幅広くとりあげてくれた
- ◆ 公募要領の概略は、お話しをお聞きすることで掴むことができました。また、申請書の各項目の連携の図については、参考になりました。一方で、申請書の具体的事例について、もっと知りたかったと思います。例えば、お話の中で出ていた、太字やアンダーラインで協調する部分が、作成者と校閲されるプロで、視点が異なると言っていたと思いますが、何がどう違うのかが、具体的に知りたかったです。基盤 S から、学術変革領域まで言及されており、領域を絞った詳しい説明があったら、良かったと思われます。

- ◆ 学術の問いについて改めて考える機会をいただいた。
- ◆ 学術的意義について、どのように表現すればよいのかよく分かっていなかったのが今後の申請に役立つヒントがあったため。できれば確認のためもう一度見たいと思う。
- ◆ 適切なプレゼンと具体的な事例説明が良かった。
- ◆ 疑問点をズバリ解説して頂いたから。
- ◆ 講演を聴くことにより、申請においてチェックすべきポイントが明らかになったため
- ◆ 何を意識して書くべきかを理解できた。
- ◆ 学術的問い、背景といった部分の書き方の論理が非常に分かりやすく伝わった。
- ◆ 申請書を準備するときのポイントが分かったため。
- ◆ 後半の時間を多めにってもらった方が良かったと思います。また、後になって質問したい事項も出たので、それに対応してくれると良いなと思います。満足と普通の間くらいです。
- ◆ 説明がわかりやすく、対策の仕方も丁寧に教えてもらえた。
- ◆ 今年度の審査はコロナ禍の影響を受け、挑戦的研究分野は審査方式が異なっていた。この点について講師の先生がコメントしなかった点についてはやや満足できるものではなかった。
- ◆ このような機会がなかなかなかったため
- ◆ 申請書の書き方のポイントがよく分かりました。
- ◆ 一昨年行われた書式の変更に伴い、申請書の書き方に適応できていなかったが、本勉強会を通し新しい書式に適応することができた。

4. 今回の科研費セミナーはどのようにして知りましたか？（複数回答可）

● 学内メール案内	30
● 研究支援・産学連携センターのホ...	1
● HIRAKUのホームページ	0
● 上司、同僚からの紹介	0
● その他	0



5. その他、ご意見、ご要望や感想等があればご記入ください。

- ◆ 今後も科研費等の勉強会を開催していただきたいです。
- ◆ 同じ研究テーマで継続して獲得するための戦略、効果的な図表の作りかた
- ◆ 今後も是非お願いします。
- ◆ 今後も、勉強会をよろしく願いいたします。ただ、今回は夜の 8 時近くまでかかり、家庭に負荷がかかりました。もう少し早めの時間帯に設けて頂けると大変助かります。